第三次中央区子ども読書活動推進計画

平成３０（２０１８）年3月

中央区教育委員会

目　　次

策定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

１　計画の性格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
２　計画期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

第１章　中央区子ども読書活動の現状と課題・・・・・・・・２

１　これまでの成果と課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）　これまでの成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）　区立施設における読書活動の現状と課題・・・・・・・・・６
①　区立図書館
②　学校と学校図書館
③　幼稚園・保育園
④　児童館・子ども家庭支援センター
（３）　アンケート結果による読書活動の現状と課題 ・・・・・・７
①　家庭や地域における読書活動
②　児童・生徒の読書活動

第２章　読書活動推進のための具体的な取組・・・・・・・１２

１　第三次計画の基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・１２
（１）　計画の目指すもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
（２）　基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
２　計画の施策体系　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
（１）　子どもの成長段階に対応した読書に親しむ機会の充実・・１４
（２）　家庭・地域・学校・関係機関の連携による読書活動推進体制の充実・１６
（３）　区立図書館における子どもの読書活動の推進・・・・・・２０
（４）　子どもの読書活動に関わる人材の育成と活動支援・・・・２９

［資料編］　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

策定について

子どもは、出会った本のページをめくりながら活字を追う中で、知らず知らずのうちに想像力が磨かれ、豊かな表現力を身に付けていきます。また、本を読むことで、ことばの意味をより深く理解し、語彙が豊富になるなど、より一層充実した知的活動を行う能力を育むことにつながります。さらに、本の世界で物語の主人公と一体化し、さまざまな生き方を体験するとともに、科学やノンフィクションの本では、今まで知らなかった事実にふれ、調べたり発見したりする喜びを知ります。

一方で、子どもを取り巻く生活環境は、テレビに加えてインターネットやスマートフォンなどの新しいメディアの普及により急速に変化しています。

こうした状況の中、子どもたち自身が、より多くの本に親しみ、読書の習慣を身に付けられるよう、家庭・地域・図書館・学校などが連携して子どもの読書活動を推進していくことが必要です。

中央区教育委員会は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第９条第２項の規定に基づき、平成 20（2008）年３月に「中央区子ども読書活動推進計画」（以下「第一次計画」という。）を策定し、43 項目の具体的な取組を掲げその実現を図りました。

その後、前記「第一次計画」の計画期間の終了に伴い、平成 25（2013）年３月に「第二次中央区子ども読書活動推進計画（以下「第二次計画」という。）」を策定し、より一層の読書機会の充実を図りました。

今回、第二次計画期間の終了を平成 29 年度末に迎えるにあたり、これまでの成果を検証し、現下の社会環境やその変化を踏まえて、新たな施策を盛込んだ「第三次中央区子ども読書活動推進計画（以下「第三次計画」という。）」を策定することとしました。

次の時代を担う子どもたちが、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な成長期に、「本を読むこと」を通して「知」を広めるとともに、豊かな感性や思いやりの心を育み、社会の一員として健やかに成長できるよう、多様な場面でさまざまな本と出会える読書環境の整備に向け、本計画が掲げる施策の具体化に取り組んでまいります。

１　計画の性格

（１）「子どもの読書活動の推進に関する法律」第９条第２項の規定に基づき、国や東京都の子ども読書活動推進計画を基本にするとともに、中央区の状況を踏まえ策定します。

（２）平成 20 年３月策定の「第一次計画」および 25 年３月策定の「第二次計画」の基本的な考えを継承するものとして策定します。

（３）「中央区基本構想」および「中央区基本計画 2018」、「改訂中央区教育振興基本計画」との整合性を図るものとします。

２　計画期間

平成 30（2018）年度から平成 34（2022）年度までの５年間とします。

第１章　中央区子ども読書活動の現状と課題

１　これまでの成果と課題

（１）これまでの成果

第二次計画では、「子どもの自主的な読書活動を推進するため、多種多様な読書のきっかけを様々な場面で提供し、さらなる読書環境の整備を図る」ことを目指しました。また、紙の本が持つ量感・質感やページをめくる楽しさを読書の重要な要素と位置付け、特に幼少期から紙の本に触れることで、本を心と身体で味わう読書活動の導入について推進しました。

第二次計画の 34 項目からなる計画の施策体系と主要な８項目の新規事業の達成状況を紹介します。